

← アイディア一覧へ戻る

イチオシポイント

「体験→意見回収→拡散」を一本の動線でデザインした点が最大の強みです。
クイズで関心を喚起し、デジタルスタンプとフォトブロップスで発信を促しつつ、シールアンケートとスピードストーミングで生の意見を即座に可視化する。この一連の流れが、短時間で高効率な参加と拡散を生み出しました。

資料をみる

どんな課題にアプローチしましたか？

「見える議会」「聞こえる声」を掲げ、町議会と議員をもっと身近に感じてもらう仕組みを作りました。
イベント会場で短時間に注目を集め、幅広い年代から率直な声を引き出すことを目標にしました。
会場とオンライン（特設ページ）の連携を実務レベルで検証し、参加回線の最適化に挑みました。

どのような新たな価値を創造しましたか？

参加そのものを記憶に残す仕掛け（クイズ＋当日限定デジタルスタンプ）で、来場体験を「思い出化」しました。
シール式アンケートとスピードストーミングで即時可視化された町民等の声（約217票）を短時間で収集しました。
フォトブロップス＋SNS誘導の仕組みで、来場者による自然な情報発信（拡散）を生み出す仕組みを確立しました。

どんな工夫をしましたか？

YES・NOシールや「1テーマ1分」のスピードストーミングで、誰でも気軽に参加できる場を実現しました。
運営面の回転力を確保：準備・午前・午後のローテーションと常時スタッフ配置で、イベント運営の安定性を担保しました。
オンライン連携を試行し、特設ページでのデジタルスタンプ配布を計測（表示回数23回）し、リアルとデジタルのつながりを検証しました。